

インピーダンス

日本共産党通研支部

http://impedance.sakura.ne.jp/
jcp.impedance@gmail.com

No. 2541

2021 年 1 月 25 日

定価 1 部 10 円

核兵器禁止条約が発効

「核なき世界」次世代に手渡そう

人類史上初「核兵器は違法」

心から歓迎する 志位委員長が声明

22 日午前零時に核兵器禁止条約が発効しました。これにより核兵器の開発、実験、生産、保有、使用、威嚇は違法になります。

日本共産党の志位委員長は同日、心から歓迎する以下の声明を発表しました。

一、条約の発効は、広

島・長崎の被爆者をはじめ、「核兵器のない世界」を求める世界の圧倒的多数の政府と市民社会の共同した取り組みによる画期的成果である。

一、条約の発効は、核兵器保有国や、核兵器に依存する国を、「国際法違反の国」として、政



長崎平和公園で発効を歓迎してアピール (22 日)
「日本政府は条約批准を」

治的・道義的に追い詰めていく大きな力を發揮していくことになるだろう。

一、菅政権が、世界の流れに背を向けて、「核抑止力の維持・強化」を持ち出し、国民多数が望む禁止条約への参加を拒否していることは、恥ずべき態度であり、内外で失望を広げている。「核抑止」

という考えは、いざとなれば広島・長崎のような「破滅的な人道的結果」を容認するものであり、とうてい許されるものではない。

唯一の戦争被爆国である日本が条約に参加すれば、「核兵器のない世界」の実現に向け大きな前向きの変化をつくることは疑いない。日本共産党は、条約に署名・批准する新しい政権をつくるため、全力をつくす。
(声明全文は共産党 HP に掲載しています)

PCR 検査強化し、医療支援を

ノーベル賞 4 氏が声明・訴え

ノーベル医学・生理

訴えました。

学賞を受賞した大隅良典、大村智、本庶佑、山中伸弥の 4 氏が 8 日、PCR 検査強化や医療支援を政府に要望する声明を発表しました。

14 日には本庶、大隈両氏がテレビに出演して

訴えました。

本庶氏は、「現在の最大の問題は無症候感染者だ」と指摘し、日本の検査数の少ないことについて「感染者の早期発見と隔離は医学の公衆衛生の許可書に書いてある。なぜ厚労省

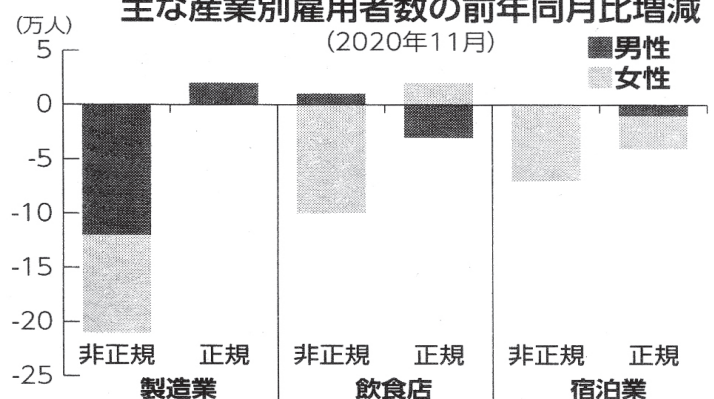
訴えました。

また両氏は医療への財政支援を強く求め、大隅氏は「感謝の言葉では済まない。医療従事者の絶対数を増やす努力が重要だ」と語りました。

今週の数字

新型コロナで雇用悪化

主な産業別雇用者数の前年同月比増減
(2020 年 11 月)



(総務省統計局「労働力調査」から作成)

職場から

新型コロナウイルス。22 日、東京都内で新たに 1175 人の感染者が確認された。10 日連続で 1000 人を超えた「緊急事態宣言」が再発令されて 2 週間、解除目安の 500 人には

【ついでに】

【職場からの続き】

× ×
通常国会開会（18 日）。代表質問が始まったが菅首相は、自画自賛や事実と異なる答弁が多い」
× ×
核兵器禁止条約が発

効（22 日）。「良かった。歴史的な日だ」カナダ在住の被爆者サーロー節子さんが、発効は 75 年間核兵器廃絶を訴え続けてきた成果。廃絶への第一歩、廃絶まで頑張ると発言をしてい



参加していない「唯一の戦争被爆国として堂々と参加すべきだ」
× ×
河井案里被告に有罪判決（東京地裁、21 日）。「懲役 1 年 4 カ月、執行猶予 5 年を言い渡し

米国大統領に就任（20 日）。「トランプ支持者による議会襲撃があったため、就任式は厳戒下で行われた」地球温暖化対策のパリ協定復帰や WHO への再加入などトランプ前政権時代の政策転換に着手した」

新しい日本をつくる

5 つの提案

(前号からのつづき)

日本共産党

提案 4 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる

気候変動問題でも、感染症のパンデミック（世界的流行）の問題でも、地球規模での環境破壊を止めることは、人類の生存にとって急務となっています。

⑭ 2050 年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにします。大型石炭火力の建設計画を中止し、既存施設の計画的停止・廃止を実施します。2030 年度までに電力の 4 割以上を再生可能エネルギーでまかない、温室効果ガスの排出を 1990 年比で 40〜50% 削減する計画を策定・実施します。コロナ危機からの経済社会の回復は、グリーン・リカバリー（環境に配慮した回復）の立場で取り組みます。

⑮ 原発の再稼働を中止し、「原発ゼロの日本」を実現します。破綻した核燃料サイクルから撤退します。

提案 5 ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切に、個人の尊厳を尊重する政治を

⑩ 次のパンデミックを防ぐうえで、健全な環境、人間の健康、動物の健康を、一つの健康と考える「ワンヘルス」アプローチが国際的な急務となっています。感染症を拡散する恐れのある野生生物の取引と消費の抑制、森林破壊の防止と土地利用の転換の抑制、自然との調和を欠いた農業や畜産から持続可能な食糧生産への転換などを推進します。

⑰ 新型コロナ危機のもと、「ジェンダー平等後進国・日本」の矛盾が噴き出しています。多くの女性が職を失い、家事・育児負担の増大、DV などさまざまな困難に直面し、女性の自殺が増えていることは、きわめて重大です。あらゆる問題に対してジェンダーの視点を貫くとともに、ジェンダー平等社会をめざして以下の課題に取り組みます。

- ・雇用におけるジェンダー差別をなくします。
- ・民法を改正し、選択的夫婦別姓制度を実現し、同性婚を認めます。戦前の「家父長制」を引き継いだ「世帯主」の制度を廃止します。
- ・性暴力根絶をめざし、強姦性交等罪の「暴



非人道的な収容をやめます。

⑲ 少人数学級の速やかな実現をはかります。子どもたち一人ひとりの多様性を大切に、一人ひとりを尊重する教育を保障するために、少人数学級は重要な一歩となります。それは過度な競争と管理という教育のあり方を見直すことにもつながる意義をもつものです。

⑳ 国費を数千億円単位で投入して「文化・芸術復興基金」を緊急に設立するとともに、国の文化予算の大幅増額をはかり、文化・芸術を人間が生きていくうえで必要不可欠な糧として守り育てる国をつくります。

卓球の全日本選手権。



「男子単は及川瑞基選手が初優勝。吉村選手、張本選手と全日本タイトルホルダーを破つての優勝は立派」女子単では石川佳純選手が伊藤美誠選手に競り勝って 5 年ぶり 5 回目の優勝。石川選手の粘りはすごかった」

「20 日の大寒の日はその名のとおり寒かった」青梅市でマイナス 5.5℃ が観測された」「道路脇の水たまりが凍っていた」